

## はじめに

「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を実現するには、学校と社会との連携及び協働はもちろん、なにより子どもたちの学びの改善・充実に真摯に取り組む教職員の力が必要です。府民が教職員に期待していることは、幼児児童生徒の豊かな成長を支えるために、一人一人の自主性や個性を尊重しながら、使命感と責任感をもって職務に励むことです。

また、幼児児童生徒は、教職員の直接的な言葉はもとより、その言葉を発する教職員自身の生き方や人となりに大きな影響を受けます。そのため、教職員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢をもち、時代の変化に応じてその能力を生涯にわたって高めるという「学び続ける」ことが強く求められています。

京都府においては、初任者・新規採用者のみなさんが、府民の期待に応える教職員としてスタートを切れるように、初任期育成研修を実施します。この研修では、公教育に携わる者として理解しなければならない知識や理論、それぞれの職種において専門的に身に付けなければならない実務や指導技術を学んでいきます。研修は、主に勤務校での研修と京都府総合教育センター等での研修を軸として進められますが、日々の授業や指導、優れた先輩の仕事ぶりなど、勤務の中で経験することも今後の成長にとって極めて大切な学びの要素とその本質が込められています。みなさんには、目指すべき教員像・職員像を描き、勤務校研修やセンター等研修の機会を十分に生かしつつ、日々の勤務を通して、教職員としての資質能力を高めていくことを期待しています。

本書は、初任期育成研修のテキストとして、教職に関わる基本的な内容を中心に編集しています。各項は、教職に就かれたみなさんが身に付けておくべき基礎的・基本的な内容に絞り、一つの項が左右2ページに収まるようコンパクトな編集を心掛けました。各項には、関連する内容を自ら学ぶことができるよう、参考資料を挙げています。各項の理解をさらに広げるため、できる限り資料に当たって、自ら学びを深めることをお勧めします。

みなさんが、この1年又は2年の研修を通して、主体的に学び続ける姿勢をもち、京都府の未来を創造する人づくりに向けた教育を担うにふさわしい教職員として、成長されることを切に願っています。

令和3年4月

京都府総合教育センター